

新たなリスク評価スキーム(2段階評価)について

初期リスク評価検討

有害物ばく露作業報告

有害性情報の収集

ばく露実態調査
(ばく露濃度の算定)

CA : A測定値
CP : 個人ばく露濃度
CS : スポット測定値
TWA : 時間加重平均濃度

有害性評価書の作成
(リスクレベルの算定)

[一次評価値]
RL(10^{-4}) : リスクレベル
[二次評価値]
TLV : ACGIHの暴露限界値
許容濃度 : 日本産業衛生学会の暴露限界値

$RL(10^{-4}) < TWA_{8h}$ の最大値 $\leq TLV$ 等
かつ
 TWA_{15m} の最大値 $< TLV-C, STEL$
の場合

TWA_{8h} の最大値、 $UCL \geq TLV$ 等
又は
 TWA_{15m} の最大値 $\geq TLV-C, STEL$
の場合

リスクの判定

TWA_{8h} の最大値 $< RL(10^{-4})$
かつ
 TWA_{15m} の最大値 $< TLV-C, STEL$
の場合

自主的な対策の
実施を行政指導

当面、追加試験
対策は不要

追加情報もしくは
試験実施が必要

詳細リスク評価検討

有害性情報の
追加収集

ばく露実態調査の
追加実施
(TWAの精度アップ)
[追加調査対象]
ばく露が高いと推定される作業、
少量取扱作業等

リスクレベル
の比較

検討中

検討中

要因
分析

工程に
共通の
問題

事業場の
問題

ばく露が無いと推定
される作業の除外
(モデル活用)

工程に
共通の
問題

事業場の
問題

自主的な対策の
実施を行政指導

事業場の
指導・監督

規制措置の導入
を決定

新たなリスク評価のフロー図

